

Dental Comm



東京歯科大学千葉病院医療連携NEWS デンタルドットコム vol.4-2

2008年6月

号 外

東京歯科大学千葉病院 医療連携室 発行
TEL 043-270-3279 (または3641)
URL: <http://www.tdc.ac.jp/hospital/ch>

『摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科』の新設

診療科科长 石田 瞭

この春より、東京歯科大学千葉病院に『摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科（通称：摂食・嚥下リハ科）』が新設されました。当科は、いかなる障害を有しても口から食べたい、という患者様のニーズや、さまざまな環境下での口腔保健に貢献すべく、外来のみならず地域への訪問診療をも想定しております。



左から杉山、石田、大久保

特徴的なのは、あくまで“摂食・嚥下リハビリテーションを主体とした病診連携の推進”を基本としていることです。日頃、訪問診療に尽力なさっている先生方は、診療の過程で患者様の「食べたい」という訴えを聞かれ、お困りになる場合も多いかと思えます。このような場合、当科へご連絡くだされば、我々が親身にご相談に乗らせていただき、対応をさせていただきます。外来での対応が一般的ではございますが、当科の場合必要に応じて往診を行い、なるべく先生と患者様のこれまでの信頼関係を維持いただけるよう支援し、地域歯科医療の推進に貢献したいと考えております。

<対象の患者様>

経口摂取にトラブルを抱える疾患は多岐にわたります。大別しますと

- ①神経・筋系疾患（脳血管障害、神経筋難病、脳性まひなど）
- ②形態の異常（口唇口蓋裂、口腔癌など）
- ③加齢に伴う機能減退
- ④心理・行動的問題（抑うつ、統合失調症など）

となりますが、発症年齢によっても症状は大きく異なってきます。当科では、小児、成人に関わらず、幅広く患者様を診察いたします。

<診療の内容>

摂食・嚥下リハビリテーションのポイントは診断／評価とリハビリの二つです。評価に際して、外来であれば簡易評価だけでなく嚥下造影検査（Videofluorography; VF）を、往診では嚥下内視鏡検査（Videoendoscopy; VE）を活用して、安全でより高度な診療を目差します。患者様により、発達的な視点、また栄養療法も加味して、バランスよく患者様のQOL向上を念頭に置いた診療を常に心がけています。

リハビリに際しては、必要により食事場面を介しながら、丁寧に指導をいたします。より、効果的な訓練になるよう、介護者様あるいはご担当歯科衛生士様へのアドバイスもしっかり行います。



嚥下内視鏡検査(VE)



嚥下造影検査(VF)

<ご連絡先>

診療ご希望の際は、下記までご連絡ください。

043-270-3531（摂食・嚥下リハ科医局）

043-270-3555（7月1日より、外来受付直通電話として使用できます。）

<診療日/担当歯科医師>

月	火	水	木	金	土
石田 杉山 大久保	石田 杉山 大久保	石田 杉山 大久保	石田 杉山 大久保	石田	石田 杉山 大久保



医療連携講演会開催のお知らせ

本年も、7月17日(木)16時より医療連携講演会を開催いたします。
今回も下記6テーマについて講演し、参加者の日常診療における各種問題点の解決法や治療に対する創意工夫などの一助となればと思います。また、今後地域との連携を深めるための一助ともなれるような内容となっておりますので、是非、ふるってご参加下さい。

※添付されているFAX送信票が参加申込書となっております。
※昨年まで「医療連携症例検討会」として開催していたものです。

1. ビスホスホネート系薬剤と顎骨壊死・顎骨骨髓炎に関する注意

担当: 口腔外科 山本 信治
内容: 最近ビスホスホネートが原因で顎骨壊死・骨髄炎の発症が急増しています。今回、日常の臨床で遭遇する高いビスホスホネートの投与患者に対する歯科治療の注意点について紹介します。

2. 新たに保険導入されたGTR法について

担当: 保存科 澁川 義宏
内容: 本年度の診療報酬改定で「歯周組織再生誘導法(GTR法)」が保険導入されました。講演では、GTR法の適応症、非適応症、術式、失敗しない注意点等を症例をとおして紹介いたします。

3. セラミックス修復の実際

担当: 補綴科 佐藤 亨
内容: 最近の補綴臨床では、金属に代わるセラミックスの登場により、メタルを使用しないメタルフリー修復が注目されてきたからである。今回は、このセラミックス修復の臨床におけるポイントをお話します。

4. 開業医のための静脈内鎮静法

担当: 歯科麻酔科 間宮 秀樹
内容: 4月より静脈内鎮静法が健康保険適応となったため、開業医でも本法が行われる可能性がある。そこで本法を安全に行うためのポイントについて解説する。

5. 「摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科」の業務内容について

担当: 摂食・嚥下リハ 石田 瞭
内容: 当科は「摂食・嚥下リハビリテーションを主体とした病診連携の推進」を基本に、稼働を開始いたしました。その業務内容について、ご紹介させていただきます。

6. テンポラリーアンカレッジデバイス(TAD)を応用した矯正治療

担当: 矯正歯科 茂木 悦子
内容: 骨に金属の小プレートあるいはスクリューを埋入することで歯の移動の最大固定を得る方法が行われ始めた。今回はその現状、将来性などについてお話しします。

会場案内図: お車でお越しの方は大学内の大駐車場(教職員用)にご駐車願います。駐車台数に限りがございますので、当日は公共の交通機関をご利用いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

東京歯科大学周辺図



学内会場図

